殺虫剤
ジノテフラン粒剤

スタークル®粒剤

農林水産省登録　第２０８０５号
（三井化学クロップ＆ライフソリューション（株）登録）
性状：類白色細粒
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物： 非該当
有効年限：５年
包装：３kg×６

有効成分：ジノテフラン（化管法第１種）・・・・・1.0％

殺虫剤分類　４Ａ

スタークル®は三井化学クロップ＆ライフソリューション（株）の登録商標です。

特長

○野菜場面では重要害虫コナジラミ類・ハモグリバエ類を初めとしてアブラムシ類・アザミウマ類・コナガ・アオムシ・キスジノミハムシなど幅広い害虫に効果を示します。
　また、一部のマイナー作物群や「花き類・観葉植物」を含んだ、広範囲な作物に登録があり、様々な栽培分野で活用できます。
○浸透移行性を活かし、野菜では植穴土壌混和のほかに生育期株元処理、育苗期処理などの幅広い処理方法が可能で、スケジュールに応じた効率的な栽培計画に活用できます。
○水稲本田施用により、ウンカ類・ツマグロヨコバイなどに加えて斑点米カメムシの防除が可能な粒剤です。粒剤なので薬剤が周囲に飛散する可能性が低いのもポイントです。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イネドロオイムシ カメムシ類 イネミズゾウムシ	３kg／１０ａ	収穫７日前まで	３回以内	散布	４回以内 （育苗箱への処理及び側条施用は合計１回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計３回以内）
きゅうり	ハモグリバエ類	２ｇ／株	育苗期	１回	株元散布	４回以内 （育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計１回以内、定植後の株元散布は１回以内、散布は２回以内）
	コナジラミ類	１～２ｇ／株				
	アブラムシ類	１ｇ／株				
	ハモグリバエ類 アザミウマ類	２ｇ／株	定植時		植穴土壌混和	
	アブラムシ類 コナジラミ類	１～２ｇ／株				
		１ｇ／株	生育期 但し、収穫開始１４日前まで		株元散布	
うり類（漬物用）	アザミウマ類	２ｇ／株	定植時	１回	植穴土壌混和	３回以内 （定植時の土壌混和は１回以内、散布は２回以内）
	アブラムシ類 コナジラミ類	１～２ｇ／株				
にがうり	コナジラミ類	２ｇ／株	定植時	１回	植穴土壌混和	３回以内 （定植時の土壌混和は１回以内、散布は２回以内）
メロン	ハモグリバエ類	２ｇ／株	育苗期	１回	株元散布	３回以内 （育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計１回以内、散布は２回以内）
	コナジラミ類	１～２ｇ／株				
	アブラムシ類	１ｇ／株				
	ハモグリバエ類 アザミウマ類	２ｇ／株	定植時		植穴土壌混和	
	コナジラミ類	１～２ｇ／株				
	アブラムシ類	１ｇ／株				
すいか	ワタアブラムシ	２ｇ／株	育苗期	１回	株元散布	４回以内 （育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計１回以内、定植後の株元散布は１回以内、散布は２回以内）
			定植時		植穴土壌混和	
			生育期但し、収穫２１日前まで		株元散布	
かぼちゃ	アブラムシ類 コナジラミ類	２ｇ／株	定植時	１回	植穴土壌混和	３回以内 （定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計１回以内、散布は２回以内）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ジノテフランを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ズッキーニ</td><td>アブラムシ類
コナジラミ類</td><td>２ｇ／株</td><td>定植時</td><td rowspan="2">１回</td><td>植穴土壌混和</td><td rowspan="2">４回以内
（定植時の土壌混和は１回以内、
定植後の株元散布は１回以内、
散布は２回以内）</td></tr>
<tr><td>アブラムシ類</td><td>１ｇ／株</td><td>生育期但し、
収穫開始１４日前
まで</td><td>株元散布</td></tr>
<tr><td rowspan="5">トマト
ミニトマト</td><td>コナジラミ類</td><td>培土１ℓ当り１０ｇ</td><td>は種前</td><td rowspan="4">１回</td><td>培土混和</td><td rowspan="5">５回以内
（培土混和及び灌注は合計１回以内、
育苗期の株元散布は１回以内、
定植時の土壌混和は１回以内、
散布及び定植後の株元散布は
合計２回以内）</td></tr>
<tr><td>ハモグリバエ類
コナジラミ類</td><td>１～２ｇ／株</td><td>育苗期</td><td>株元散布</td></tr>
<tr><td>アブラムシ類</td><td rowspan="2">１ｇ／株</td><td rowspan="2">定植時</td><td rowspan="2">植穴土壌混和</td></tr>
<tr><td>コナジラミ類
アブラムシ類</td><td>生育期但し、
収穫前日
まで</td><td>２回以内</td><td>株元散布</td></tr>
<tr><td rowspan="4">とうがらし類</td><td>コナジラミ類
アブラムシ類</td><td>１ｇ／株</td><td>育苗期</td><td rowspan="4">１回</td><td>株元散布</td><td rowspan="4">４回以内
（育苗期の株元散布及び定植時の
土壌混和は合計１回以内、
定植後の株元散布は１回以内、
散布は２回以内）</td></tr>
<tr><td>アザミウマ類</td><td>１～２ｇ／株</td><td rowspan="2">定植時</td><td rowspan="2">植穴土壌混和</td></tr>
<tr><td rowspan="2">アブラムシ類</td><td rowspan="2">１ｇ／株</td></tr>
<tr><td>生育期但し、
収穫開始１４日前
まで</td><td>株元散布</td></tr>
<tr><td>とうがらし
（葉）</td><td>アザミウマ類
アブラムシ類</td><td>１ｇ／株</td><td>定植時但し、
収穫３日前
まで</td><td>１回</td><td>植穴土壌混和</td><td>３回以内
（定植時の土壌混和は
１回以内、散布は２回以内）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">なす</td><td>ハモグリバエ類</td><td>２ｇ／株</td><td rowspan="3">育苗期</td><td rowspan="6">１回</td><td rowspan="3">株元散布</td><td>３回以内
（育苗期の株元散布及び定植時の
土壌混和は合計１回以内、散布及び
定植後の株元散布は合計２回以内）</td></tr>
<tr><td>コナジラミ類</td><td>１～２ｇ／株</td><td rowspan="5">３回以内
（育苗期の株元散布及び定植時の
土壌混和は合計１回以内、散布及び
定植後の株元散布は合計２回以内）</td></tr>
<tr><td>アブラムシ類</td><td>１ｇ／株</td></tr>
<tr><td>ハモグリバエ類
アザミウマ類
コナジラミ類</td><td>１～２ｇ／株</td><td rowspan="2">定植時</td><td rowspan="3">植穴土壌混和</td></tr>
<tr><td>アブラムシ類</td><td rowspan="2">１ｇ／株</td></tr>
<tr><td>アブラムシ類
コナジラミ類</td><td>生育期但し、
収穫前日
まで</td><td>２回以内</td><td>株元散布</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ピーマン</td><td>アブラムシ類
コナジラミ類</td><td>１ｇ／株</td><td>育苗期</td><td rowspan="3">１回</td><td>株元散布</td><td rowspan="3">３回以内
（育苗期の株元散布及び定植時の
土壌混和は合計１回以内、散布及び
定植後の株元散布は合計２回以内）</td></tr>
<tr><td>アザミウマ類</td><td>１～２ｇ／株</td><td rowspan="2">定植時</td><td rowspan="2">植穴土壌混和</td></tr>
<tr><td>アブラムシ類</td><td>１ｇ／株</td><td>生育期但し、
収穫前日
まで</td><td>２回以内</td><td>株元散布</td></tr>
<tr><td rowspan="4">キャベツ</td><td>アブラムシ類</td><td>２ｇ／株</td><td>育苗期</td><td rowspan="4">１回</td><td>株元散布</td><td rowspan="4">３回以内
（育苗期の株元散布及び定植時の
土壌混和は合計１回以内、散布及び
定植後の株元散布は合計２回以内）</td></tr>
<tr><td>アオムシ
コナガ</td><td>２～３ｇ／株</td><td rowspan="3">定植時</td><td rowspan="3">植穴土壌混和</td></tr>
<tr><td>アブラムシ類</td><td>２ｇ／株</td></tr>
<tr><td>ハイマダラノメイガ</td><td>３ｇ／株</td></tr>
<tr><td rowspan="3">はくさい</td><td>アオムシ
コナガ</td><td>２～３ｇ／株</td><td rowspan="3">定植時</td><td rowspan="3">１回</td><td rowspan="3">植穴土壌混和</td><td rowspan="3">３回以内
（定植時の土壌混和及び灌注は
合計１回以内、散布は２回以内）</td></tr>
<tr><td>アブラムシ類</td><td>２ｇ／株</td></tr>
<tr><td>ハイマダラノメイガ</td><td>３ｇ／株</td></tr>
<tr><td>ブロッコリー</td><td>アブラムシ類
コナガ</td><td>２ｇ／株</td><td>定植時</td><td>１回</td><td>植穴土壌混和</td><td>３回以内
（定植時の土壌混和及び灌注は合計
１回以内、散布及び無人航空機散布は
合計２回以内）</td></tr>
</table>

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
だいこん	アブラムシ類	6kg／１０ａ	は種時	１回	播溝土壌混和	５回以内 （は種時の播溝土壌混和は１回以内、は種時の全面土壌混和は１回以内、粒剤の散布は１回以内、水溶剤の散布、液剤の散布及び無人航空機散布は合計２回以内）
	キスジノミハムシ	４～6kg／１０ａ				
		９～１２kg／１０ａ			全面土壌混和	
	キスジノミハムシ タネバエ	6kg／１０ａ	生育期 但し、収穫３０日前まで		散布	
チンゲンサイ	キスジノミハムシ	6kg／１０ａ	定植時	１回	土壌混和	３回以内 （は種時及び定植時の土壌混和は合計１回以内、散布は２回以内）
	アブラムシ類 キスジノミハムシ		は種時		播溝土壌混和	
非結球あぶらな科葉菜類(チンゲンサイを除く) かぶ	アブラムシ類 キスジノミハムシ	6kg／１０ａ	は種時	１回	播溝土壌混和	３回以内 （は種時の土壌混和は１回以内、散布は２回以内）
レタス 非結球レタス	ナモグリバエ	培土１ℓ当り１５ｇ	は種前	１回	培土混和	４回以内 （は種前の培土混和は１回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計１回以内、散布は２回以内）
		１ｇ／株	育苗期後半		株元散布	
	アブラムシ類 ナモグリバエ	２ｇ／株	定植時		植穴土壌混和	
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6kg／１０ａ	は種時	１回	播溝土壌混和	４回以内 （は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計１回以内、生育期の株元灌注は１回以内、散布、無人航空機散布及び定植後の株元散布は合計２回以内）
			定植時		株元散布	
	アザミウマ類 クロバネキノコバエ類		生育期但し、収穫３日前まで	２回以内		
	ハモグリバエ類	６～９kg／１０ａ				
わけぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6kg／１０ａ	生育期 但し、収穫２１日前まで	１回	株元散布	４回以内 （定植後の株元散布は１回以内、生育期の株元灌注は１回以内、散布は２回以内）
にんじん	ハモグリバエ類	9kg／１０ａ	は種時	１回	播溝土壌混和	４回以内 （は種時の土壌混和は１回以内、生育期の株元灌注は１回以内、散布は２回以内）
ほうれんそう	アブラムシ類	6kg／１０ａ	は種時	１回	播溝土壌混和	３回以内 （は種時の土壌混和は１回以内、散布は２回以内）
セルリー	アブラムシ類	２ｇ／株	定植時	１回	植穴土壌混和	３回以内 （定植時の土壌混和は１回以内、散布は２回以内）
いちご	ワタアブラムシ	０.５～１ｇ／株	定植時	１回	植穴土壌混和	１回
くわい	アブラムシ類	3kg／１０ａ	収穫３０日前まで	3回以内	散布	３回以内
らっきょう	アザミウマ類	6kg／１０ａ	生育期但し、収穫前日まで	3回以内	散布	３回以内
オクラ さやいんげん	アブラムシ類	9kg／１０ａ	生育期但し、収穫開始１４日前まで	１回	株元散布	３回以内 （株元散布は１回以内、散布は２回以内）
しょうが	クロバネキノコバエ類	9kg／１０ａ	生育期但し、収穫１４日前まで	１回	株元散布	３回以内 （株元散布は１回以内、散布は２回以内）
実えんどう さやえんどう	ハモグリバエ類	9kg／１０ａ	生育期但し、収穫開始１４日前まで	１回	株元散布	３回以内 （株元散布は１回以内、散布は２回以内）
だいず えだまめ	フタスジヒメハムシ	6kg／１０ａ	は種時	１回	播溝土壌混和	３回以内 （は種時の土壌混和は１回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計２回以内）
しそ	マデイラコナカイガラムシ	２ｇ／株 (但し、１０ａ当り２５kgまで)	定植時	１回	植穴土壌混和	３回以内 （定植時の土壌混和は１回以内、散布は２回以内）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
食用ぎく	アブラムシ類 マメハモグリバエ	１ｇ／株 （但し、１０ａ当り３０kgまで）	定植時	１回	植穴土壌混和	３回以内 （定植時の土壌混和は１回以内、散布は２回以内）
しゅんぎく	ハモグリバエ類	９kg／１０ａ	は種時 定植時	１回	播溝土壌混和	３回以内 （は種時及び定植時の土壌混和は合計１回以内、散布は２回以内）
ふき	アブラムシ類	２０kg／１０ａ	定植後～生育期（草丈２０cm頃まで）但し、収穫４５日前まで	１回	土壌表面散布	３回以内 （土壌表面散布は１回以内、散布は２回以内）
葉ごぼう	アブラムシ類	６kg／１０ａ	は種時 生育期但し、収穫２１日前まで	１回	全面土壌混和 株元散布	２回以内 （は種時の全面土壌混和は１回以内、生育期の株元散布は１回以内）
茶	クワシロカイガラムシ	１２kg／１０ａ	摘採７日前まで	２回以内	株元土壌混和	２回以内
さとうきび	カンシャコバネナガカメムシ メイチュウ類	６～９kg／１０ａ ９kg／１０ａ	生育期但し、収穫４５日前まで	２回以内	散布	５回以内 （粒剤は２回以内、液剤、水溶剤及び水和剤は合計３回以内）
かんきつ（苗木）	ミカンハモグリガ	２０ｇ／株	育苗期	５回以内	株元散布	５回以内
なし（苗木）	アブラムシ類	２０ｇ／株 （但し、１０ａ当り１１０kgまで）	育苗期	１回	株元散布	1回
きく	マメハモグリバエ コナジラミ類 アブラムシ類	２ｇ／株 （但し、１０ａ当り３０kgまで） １ｇ／株 （但し、１０ａ当り３０kgまで）	定植時	１回	植穴土壌混和	５回以内 （土壌混和は１回以内）
	アブラムシ類	２０kg／１０ａ	生育期	５回以内	株元散布	
ガーベラ	マメハモグリバエ コナジラミ類 アブラムシ類	２ｇ／株 （但し、１０ａ当り３０kgまで） １ｇ／株 （但し、１０ａ当り３０kgまで）	定植時	１回	植穴土壌混和	５回以内 （土壌混和は１回以内）
	アブラムシ類	２０kg／１０ａ	生育期	５回以内	株元散布	
花き類・観葉植物（きく、ガーベラを除く）	コナジラミ類 アブラムシ類	１ｇ／株 （但し、１０ａ当り３０kgまで）	定植時	１回	植穴土壌混和	５回以内 （土壌混和は１回以内）
	アブラムシ類	２０kg／１０ａ	生育期	５回以内	株元散布	
つつじ類	ツツジグンバイ	６kg／１０ａ	発生初期	５回以内	株元散布	５回以内
いぐさ	イグサシンムシガ	３～６kg／１０ａ	発生初期	２回以内	散布	２回以内

使用上の注意事項

●水稲に使用する場合には、湛水状態（３cm程度）で田面に均一に散布し、４～５日間は湛水状態を保ち、散布後７日間はかけ流しをしないでください。
●つまみ菜、間引き菜には使用しないでください。
●本剤の株元散布を行う際は、処理直後に潅水してください。
●かんきつに用いる場合は、今期に収穫見込みのない苗木に対して株元散布し、処理後は軽く潅水してください。なお、本剤を散布してから効果を発揮するまでにある程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に散布してください。
●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下の事に注意してください。
〇ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
〇養蜂が行われている地区や受粉等を目的としてミツバチ等を放飼している地区で使用する場合は、関係機関（都道府県の畜産部局や病害虫防除所等）への連絡を徹底し、ミツバチ等の危害防止に努めてください。
●容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

●本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

●街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係ない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に係る注意事項

●水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。散布後は水管理に注意してください。

保管に関する注意事項

●直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。